



退職後、絵心のない私が、後の楽しみにと始めた水墨画も、ずいぶん長くなります。墨一色で描く墨絵の描写法は奥深く、年を重ねるごとにむずかしさを感じます。水墨画に出会い、時間がたつのも忘れ、無心に描ける時間をもてるという事は、最高の喜びです。

これからも、橋爪先生にご指導頂きながら、老後の生き甲斐として、仲間の皆さんと楽しく続けていきたいと思います。



立花町白木
櫻木 貞子

地域医療の担い手として ⑨

現在各市町村では「住み慣れた地域で最後まで生活できる環境整備」を目指し、『地域包括ケア』が始まっています。その一端を担う看護師育成機関は、この10年の間に大きく様変わりしました。

全国で看護系大学が267校と急激に増え、看護師養成機関も3年課程が537校、准看護師資格を取って進学できる2年課程が142校あり、何れも国家試験資格が得られます。一方准看護師養成機関（県知事認可）は217校と減少傾向です。

本校は准看護科と看護師2年課程を併設し、地域医療を目指してきました。特に僻地を抱えるこの地区では超高齢化と同時に過疎化が急激に進む中、地域医療が末端にまで行き渡るには絶対数の看護職の育成が不可欠です。

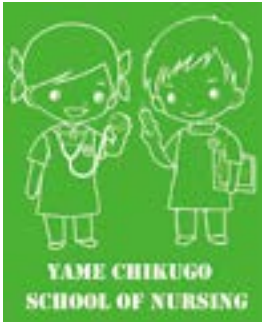
本校では、今までに看護科859人、准看護科1815人を送り出しました。その多くが地域の医療施設で活躍しています。学生の平均年齢も約23歳で18歳から40歳とまちまちですが「人の役に立つ仕事がしたい」「一旦就職したが、若い頃の夢が捨てきれない」「身体的なケアができる勉強がしたい」等、様々な理由で学習に励んでいます。

私事になりますが同僚と朝のウォーキングを始めて5年になります。毎日同じ風景を見ながら歩いても新しい発見をすることが度々あります。教育の現場も同じで、学生にも皆それぞれ美点があり、教師にはそれを見抜く感性・力量が求められます。

感性豊かな教員が揃い、准看護師や看護師の資格を取る上で学生が人としても成長する過程を支援出来るところは本校の強みと確信しています。

9月末から来年度の願書受付が始まりました。『地域医療の担い手』として、看護職を目指したい方は是非本校で学んでみませんか。

八女筑後看護専門学校 准看護科教務主任 田中 恵子



ハ女茶で健康 第38回
全国茶品評会玉露の部 星野村の倉住努さんが日本一獲得！

この品評会は、国の農林水産祭参加行事として、全国茶生産団体連合会が主催したもので、平成30年8月28日～31日まで静岡市の（株）静岡茶市場で開催されました。

審査茶種は、煎茶10kg、煎茶4kg、深蒸し煎茶、玉露、かぶせ茶、てん茶（抹茶にする前のお茶）、蒸し製玉緑茶、釜炒り茶の8部門があり、それぞれの部門の1等1席には農林水産大臣賞が授与されます。私は、審査員の一人として審査をさせて頂きました。



福岡県からは、煎茶2部門と玉露、かぶせ茶、てん茶部門に出品し、それぞれ多くのお茶が入賞したことにより、ハ女茶の名声を大いに高めることとなりました。中でも玉露部門では、1位から19位まで独占し、1等1席の日本一には八女市星野村の倉住努さん（57歳）が輝かれました。

外観（形状や色沢）、香気、水色（茶碗に淹れたときの茶の色）、味の各審査項目で満点を取られ、まさに日本一にふさわしい玉露でした。

倉住努さんは、約37年もの間、毎年、全国茶品評会玉露の部に挑戦し、初の全国制覇を成し遂げられました。玉露づくりでは、茶園の排水が良いため、夏の干ばつに留意され、麦わらの投入や灌水に気を配ってあります。また被覆の開始時期や摘採時期を研究されているそうです。倉住さんご一家は、お祖父様の代に昭和6年の九州・沖縄製茶大量品評会玉露の部で1等金杯を受賞、お父様の代でも全国茶品評会玉露の部で2回の日本一となられており、名実ともに八女高級茶産地を長年支えて頂いています。後継者もおられ、今後の活躍が期待されます。1世紀4代の長きにわたり高級玉露づくりに尽力され、日本一のハ女玉露を支えておられる姿にただ脱帽し、尊敬申し上げる次第です。

福岡県茶生産組合連合会事務局長 仁田原 寿一

森林セラピー基地 ーくつろぎの森グリーンピア八女ー
～できたて空気で 深呼吸・身呼吸・心呼吸～

森林セラピーとは、森の持つ癒し効果を科学的に解き明かし、心と身体の健康に活かそうという取組です。県内には八女市黒木町を含め4基地、九州沖縄地域では11基地が認定を受けています。

訪れる方に、心も身体もくつろいでもらうため、森の案内人が一緒に森を散策します（※案内は要予約、有料）。森の中や周辺で耳や目、鼻、手足、味覚等の五感を研ぎ澄ませて、木々の息吹や風のざわめきを感じてください。そして、その中で一番自分に合ったリラックス方法を探してみてください。また、年に6回程度イベントを開催しております。

10月20日（土）フォークデュオ五円玉コンサート

「森の案内人」が約2kmの森林セラピーロードをご案内
「森のなかまたち」と「五円玉」によるコンサート
先着50名 参加料2,000円（セラピー体験・森の癒し弁当・温泉券付）
応募締切 10月9日（火）

12月2日（日）セラピーウォーク

森の案内人とグリーンピア八女全ての森林セラピーロードを約7.5km歩きます 健康に自信のある方
先着50名 参加料1,000円（森の癒し弁当・温泉券付）
募集締切 11月19日（月）
下記へ電話またはFAXでお申し込みください
八女市役所 黒木支所 産業経済課商工観光係 ☎0943-42-1115



クラッシー文芸

■黒木町 くすの実句会

災害の爪痕に降る星月夜 吉泉 守峰
ならぬことならぬと夏に逝きし知事 寺田 睦子

ほろ酔ひの冷酒重ね星月夜 松尾満留美

人命に關はる酷暑蟬鳴かず 松尾アサ子
峡の里被爆の祖父の原爆忌 野崎万智子

あな清し百回記念の甲子園 青木 早弓

■ひろかわ俳句会

球場にびびくサイレン終戦日 酒井 司
カーテンのそよりとせぬ残暑かな

夏草の繁れるままの廃家かな 山崎 陽子
手の甲の老班ふゆる残暑かな 野中 勝美

廃屋の飾り山なる葛の花 一瀬砂智子
零余子飯今宵の膳に母の顔つ 原口あつ美

口衝くは残暑の嘆き今日もあり 結末 節子
自分史の重さひと日や終戦日 柴田 眞理

松延 朝美

■立花短歌会

炎天に窓から見えるサルスベリ優しさ貰うそのピンク色には 樋口 愛子

在りし日の父が植えたるさるすべり窓辺叩き 鶴 邦子

て花びら散らす 車窓より見渡す山脈朝倉の地肌は赤し豪雨の 田中たつじ

あとの 窓越しにあいさつ交わす隣組互いに安否を気遣いながら 橋本 泰州

がさがさと七夕柿を食べに来るウリ坊二匹窓 松尾ミサキ

ごしに見る 浴室の窓に張り付くカベチョロはねらい定め 櫻木 敦子

て蛾をくわえたり 窓ぎわの日除けにせんとゴーヤ植え一石二鳥 中島 睦美

狙うこの夏 羽田便の小さき窓に見送りしわが子も定年数 井上 精

うる齡 冷え冷えの立山に見る星座群かつて知りたる 鶴 隆治郎

星求めつつ 草刈ればこむらがえりで疼く夜 作を減らせ 野中 裕政

と母の声聞く